

共同運営部門：ICU/CCU センター

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
センター長 兼心臓血管外科部長	良本 政章

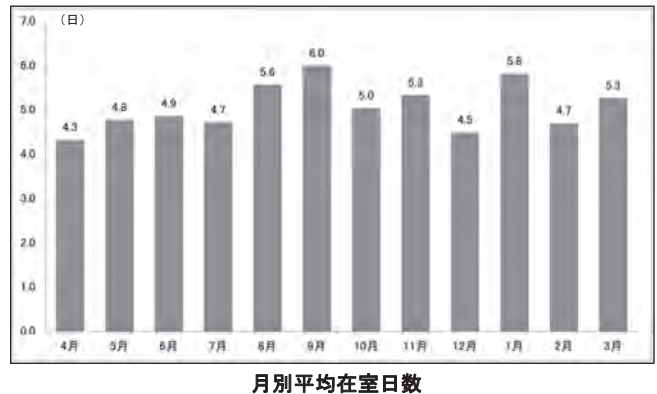
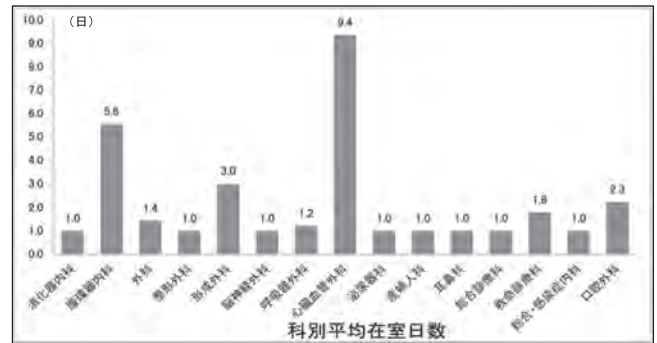
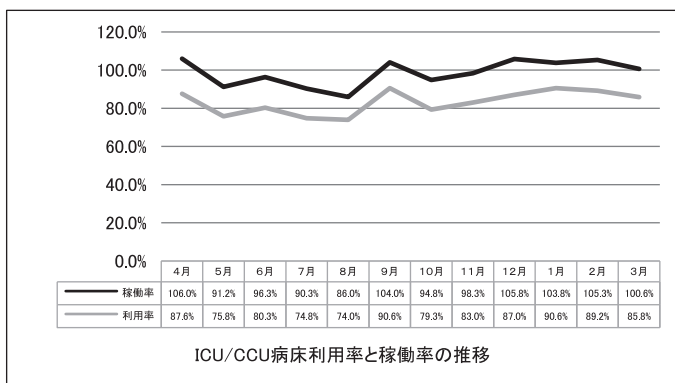
＜関連部署＞

部署名	部署名
心臓血管外科	循環器内科
外科	救命診療科
泌尿器科	腎臓内科
口腔外科	救急科
整形外科	形成外科
呼吸器外科	産婦人科
脳神経外科	総合内科・感染症内科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	看護局

＜特色と概要＞

当院のICU/CCUは、2013年度より特定集中治療室管理料3の施設基準を満たし、管理料を取得している。

＜実績＞



＜今年度の反省と来年度への抱負＞

2024年度のICU/CCU延べ患者数は3,027件であり、昨年度よりも260件減少した。5月から8月にかけて循環器疾患の入室患者が減少したこともあり、病床利用率82.9%、病床稼働率97.1%ともに、好調であった昨年度よりも下回った。

入室状況は、予定入室は43.5%と低下し、緊急入院も49.3%に低下した。一方で院内発生の緊急入室は7.2%に増加し、院内重症患者の急変に迅速に対応した。

入室診療科では、心臓血管外科と循環器内科で96%を占め、さらに昨年以上に循環器系の入室が多かった。外科・呼吸器外科など外科系科の術後入室もコンスタントにあったが、循環器系が上回る結果であった。

以上のように例年よりもやや入室数は減少したものの、依然として利用率、稼働率は高値を維持した。一方、以前より問題となっている全病院的な病床不足に伴って、後方ベッドの回転率が低下し、その結果ICUから転室できずに緊急症例対応が困難となったり、長期入室症例の存在による必要度低下などが見られた。引き続き連携をとって、稼働率のみならず回転率を意識した運用を図っていきたい。

今年度同様に、高い病床利用率、稼働率の維持を図るとともに、各病棟や病床管理と連携して、長期入室症例の削減と病床回転のさらなる効率化を目指していきたい。

